

第4回 テーマ研修

研修テーマ

学習者主体の授業による自ら学ぶ児童の育成
～子供の事実を基にした省察を通して～

運営テーマ

指導観・研修観の転換をとおした、
同僚性・ウェルビーイングを高める校内研修の在り方

【日 時】

令和8年6月30日(火) 14:55～16:00

【場 所】 1年1組教室

【内 容】

- | | |
|-----------------|------------------|
| I 児童の姿をもとにした話合い | 14:55～15:35 (40) |
| II 指導助言(毛利指導主事) | 15:35～15:55 (20) |
| III 校長指導 | 15:55～16:00 (5) |

【準備する物】

- ・ タブレット
- ※ シースマイルでも資料を配布します。
- ※ 紙媒体が必要な方は各自で印刷してください。
- ・ 筆記用具
- ・ これまでの研修資料

みんなで 学びを進める 大切なルール

① 互いの価値観や経験、思いを聞き合う。

共感的に聞きながら、印象に残った言葉を伝え、疑問に思ったことは相手に「問い」として返す。

② 互いの「違い」を楽しむ

相手の意見を否定したり、相手の思いに「べき」論で返したりせず、違いがあることがあることを当然として、違いの中身を楽しみながら協議する。

→ 自分と違う視点を知ることは、自分の学びにつながる。

③ サポートできることを大切にする。

自分の学びを進めるだけでなく、共に学びを創る一員として、自分ができるサポートを見つけながら協議する。

第3回テーマ研修の振り返り

○ R7 までの「児童の姿を見る」について

研究の内容

児童が主体的に学ぶ授業をどう実現するか考える際に、「学習者は本来主体的に働いている」と考え、学習者がいつどのように主体性を発揮しているかを観察し学ぶ。そして、授業参観・授業研究を「みえる力」を鍛える場と考え、各担任が授業を提供し、全授業に対して授業研究を行う。

【授業研究の流れ】

- 1 観察した「事実」を報告し合う。(タイミング・内容・条件)
- 2 各々の「みえた」事柄からどんな意味が見出されるかを意見交流する。
- 3 「学習者主体」「自ら学ぶ児童」等を目指すために、どのような手立てが効果的を考える。
- 4 明日からの自身の挑戦内容を具体化する。(何を変えることで子供の学びがどう変化するか)

○ R8 の「児童の姿を見る」の方向性について

研究の内容

児童が主体的に学ぶ授業をどう実現するか考える際に、「学習者は本来主体的に働いている」と考え、学習者がいつどのように主体性を発揮しているかを観察し学ぶ。そして、授業参観・授業研究を「みえる力」を鍛える場と考え、各担任が授業を提供し、全授業に対して授業研究を行う。

テーマ研修では、学年部で、授業研究を行い、指導力向上を図る。

授業研究では、「学習者主体」「自ら学ぶ児童」等を目指すために、どのような手立てが効果的を考える。

最後に、明日からの自身の挑戦内容を具体化する。

【授業研究の流れ】

- 1 観察した「事実」を報告し合う。(タイミング・内容・条件)
- 2 各々の「みえた」事柄からどんな意味が見出されるかを意見交流する。
- 3 「学習者主体」「自ら学ぶ児童」等を目指すために、どのような手立てが効果的を考える。
- 4 明日からの自身の挑戦内容を具体化する。(何を変えることで子供の学びがどう変化するか)

→ 「見る力」が高まってきた今、児童の姿から、「どのような手立てをしたらいいか」「どうすれば学習者主体の授業に近づけるか」を検討していく時間に比重を移していく。

I 児童の姿をもとにした話し合い（6月30日（火）5校時 1年1組 算数 授業者：中尾）

1 参観の仕方

- ・ 担当の児童を見る。
- ・ 参観シートに「なぜ～できたのか」「なぜ～できなかったのか」という事実、「どういうタイミング・内容・条件でできた、できなかったのか」事実を記入する。

【主体的な姿の例】

問題発見力	当事者意識をもって問いを見いだす子供
自己調整力	学びの見通しを持ち、自ら学びの方法を選択・決定し、自らの学びを調整しながら実行できる子供
協働する力 関係調整力	分からないところやできないところは、他者と協力し合い解決しようとする子供 対話を通して対立やジレンマを乗り越えようとする子供
省察力	分からなかった点やできなかった点を見直し、次に生かそうとする子供
自尊心	自分の「伸び」を実感し、自分のよいところを認め、次の学習につなげる子供
粘り強さ	問いに主体的に、粘り強く学び続けようとする子供

※ 授業をすべて見られなくても話し合いができるように、タブレット等で録画したものを準備する。また、話し合い中に児童の事実を見るための手掛かりとする。

※ 各グループで進行役と記録者を決める。記録者が発表する。

2 授業研究～児童の姿をもとにした話し合い～

(I) 授業者のねがいや意図を簡単に話す。

授業前の実態	【主体性】○ ・ 自分の考えに自信がもてていないときに支援をすると、意欲的に取り組むことができる。
	【考えを伝える】○ ・ 相手と交流して、考えを伝え合うことができるが、自分の間違いを受け入れることに時間を要するときがある。
本授業での手立て	【主体性】 ・ 教科書のポイントとなる部分を確認する。 ・ ひき算の計算のしかたを確認する。 ・ ワークシートを準備する。
	【考えを伝える】 ・ 考えを伝えあう前に、個別に声掛けや助言を行い、自分の考えに自信をもたせる。 ・ 相手に伝わるように、声の大きさ・話すスピードを意識させる。 ・ 聞く側の人には、相手の考えを最後まで聞くことができるようにする。
本授業後に目指す姿	・ ひき算の計算のしかたについて理解し、正しく立式して答えを求め、説明することができる。

(2) 授業参観時の子供の事実を共有し、話し合う。



ア どんな姿が見られたか、導入・展開・終末で変化があったのか、つぶやきや小さな体の動きなどを共有し、「子供が授業の中で何を体験しているか」をとらえる。

イ 教員が、お互いの見取りを交流し、子供の事実を明らかにしていく。

ウ 子供の事実を観察し、分析をしたり評価をしたりすることで、これまで気付かなかった授業の構造や問題について考える。

エ 学習者が主体的に学びに向かっていたか、事実をもとに意見交流する。

* なぜ~できたのか?できなかったのか?という「タイミング・内容・条件」でできたのか?できなかったのか?という事実をたくさん見つけていく。

(3) 観察した事実を、目指す姿に迫れているもの(○)、そうでないもの(△)に分類し、グルーピングする。

① どんな姿がみられたか、変化やつぶやきなどを共有し、「子供が授業の中で何を体験しているか」をとらえる。

導入	展開	終末
「今日は、分数的な考え方を活用して、問題を解いてみたい。」	「分数的な考え方を活用して、問題を解いてみたい。」	「今日は、分数的な考え方を活用して、問題を解いてみたい。」

② 観察した事実を、目指す姿に迫れているもの(○)、そうでないもの(△)に分類し、グルーピングする。

相対に伝わるか? △
↑ 論理的
○の/→理解○

③ 子供の姿の分析から、展望を書く。共有した展望から、全体で取り組むことを決める。

短期的	長期的
「友だちに説明タイム」	「なんで!? とたずね合う→説明」
「書く、考える、読む、説明」	「つては、よく分かるように書く」
「図の活用方法(印、かき方)」	

全体で取り組むこと
1人1回は、アウトプット

④ 共有した展望から、個人で取り組むことを決める。

校長先生	海斗先生	みずき先生	かな先生
アウトプットしている、見返る。	「なんで?」とたずねろ!	自分で学習方法を、選んで、誰かにアウトプット!	お互いを見かけ合! 自分の考えを積極的に伝える!

① どんな姿がみられたか、変化やつぶやきなどを共有し、「子供が授業の中で何を体験しているか」をとらえる。

導入	展開	終末
「今日は、分数的な考え方を活用して、問題を解いてみたい。」	「分数的な考え方を活用して、問題を解いてみたい。」	「今日は、分数的な考え方を活用して、問題を解いてみたい。」

② 観察した事実を、目指す姿に迫れているもの(○)、そうでないもの(△)に分類し、グルーピングする。

【目指す姿】 両端線図を使って、分数・整数の計算の仕方を選び、説明する。

説明がうまくできなかった、計算の言葉で言語化は必須
発表にいく前に、フックを必ず! → 友だちに伝わる? 説明は活動でやる? (2人1組)

③ 子供の姿の分析から、展望を書く。共有した展望から、全体で取り組むことを決める。

短期的	長期的
「全員のアウトプット」	「なんで!? とたずね合う→説明」
「友だちに説明タイム」	「つては、よく分かるように書く」
「図の活用方法(印、かき方)」	

全体で取り組むこと
1人1回は、アウトプット

④ 共有した展望から、個人で取り組むことを決める。

永田先生	私山先生	伊口先生	栄花先生
アウトプットの方法を、自分で考える	「なんで!? とたずね合う→説明」	自分で考える、友だちに伝わるように書く	「なんで!? とたずねろ!」

(4) 子供の姿の分析から展望を導く。

ア △をつけたグループから1つ抽出し、なぜそうなったのかを**子供の目線で解釈**し、それを解決するためのアイデアを出し合う。それらをもとに、短期的・長期的に取り組めそうなことを決める。

イ 各グループの展望を共有する。

ウ 共有した展望から、全体で取り組むことや個人で取り組むことを決め、振り返る。

Ⅱ 指導助言

Ⅲ 校長指導

メモ